

科目名称：	保育実習指導B	
担当者名：	中村 明成、柴田 英登	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>保育士資格取得のためには、保育所以外の児童福祉施設での実習（以下「施設実習」）が必修となっている。「保育実習指導B」は「保育実習I（施設実習）」の事前・事後指導に当たる授業である。「保育実習I（施設実習）」は、具体的には、児童養護系施設（乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設、児童自立支援施設）と障害系施設（肢体不自由児施設、重症心身障害児施設、知的障害児施設、知的障害者支援施設）を対象とする。この授業では、各々の施設の概要を説明して、施設のおかれている現状を理解し、実習の目的、意義や心構えを明確に持つことで、実習先の選定の希望なども含めて、具体的に進めていきたい。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>実習の対象となる施設を、種別ごとに理解する。特に、対象となる「利用者」の理解を深める。課外活動にも積極的に参加し、実体験としての理解をより深める。事前訪問をして、本実習までのモチベーションを高める。実習後も施設のイベントに積極的に参加し、事後学習に努める。</p>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)					0
幼児教育DP(4)			100		100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》中村 障害者支援施設支援員 社会福祉士 ケアマネージャー	《経験年数1》 11年10か月
	《内容2》柴田 臨床心理士	《経験年数2》 12年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
授業内レポート	授業の内容をよく理解し、施設の種別ごとの違い、共通することをよく理解できている	授業の内容を理解し、施設の種別が整理され、実習について考えている	授業の内容を理解し、実習について考えている	授業の内容を理解できていない
事前体験レポート	事前体験でのかかわりをよく理解し、指示された様式で表現できる	事前体験でのかかわりを理解し、指示された様式で表現できる	事前体験でのかかわりをレポートにかける	事前体験でのかかわりが理解できていない
グループでのプレゼンテーション	グループでの意見をまとめ、他者の体験も合わせて発表できる	グループで意見をまとめ、分担して発表できる	グループの意見をまとめ、発表できる	グループの意見をまとめることが不十分である
実習講演会レポート	講演の内容を十分理解し、自分の実習につなげられる	講演の内容と、自分の実習について、関係して考えられる	講演の内容を理解している	講演の内容が十分理解できていない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 「施設実習」実施までの流れとその目的の理解	施設実習についてのプリントを読みこむ	30分
第2回 施設の実際「乳児院」	施設実習についてのプリントを読みこむ	30分
第3回 施設の実際「児童養護施設」	「乳児院」について理解する	30分
第4回 施設の実際「母子生活支援施設」	「児童養護施設」について理解する	30分
第5回 施設の実際「児童自立支援施設」	「母子生活支援施設」について理解する	30分
第6回 施設の実際「肢体不自由児施設」	「児童自立支援施設」について理解する	30分
第7回 施設の実際「重症心身障害児施設」	「肢体不自由児施設」について理解する	30分
第8回 施設の実際「障害児施設」	「重症心身障害児施設」について理解する	30分
第9回 施設の実際「障害者支援施設」「障害福祉サービス事業所」	「障害児施設」について理解する	30分
第10回 「施設実習」についての実習先調査	「障害者施設」について理解する	30分
第11回 実習先の調整	実習先の可能性のある施設を調べる	30分
第12回 前年度実習学生レポートの読みと理解	実習先の可能性のある施設を調べる	30分
第13回 実習報告会	実習報告会の資料を読んでおく	40分
第14回 実習報告会	実習報告会レポートをまとめる	40分
第15回 春期体験学習についてのガイダンス	体験学習の日程・内容を理解する	60分
第16回 春期体験学習についてのふりかえり	春期体験学習のレポートをまとめる	60分
第17回 施設種別ごとのグループ別発表(プレゼンテーション)	種別ごとのプレゼンテーション用原稿をまとめる	30分
第18回 施設種別ごとのグループ別発表(プレゼンテーション)	種別ごとのプレゼンテーション用原稿を修正する	30分
第19回 施設種別ごとのグループ別発表(プレゼンテーション)	種別ごとのプレゼンテーション用資料をグループでまとめておく	30分
第20回 施設種別ごとのグループ別発表(プレゼンテーション)	種別ごとのプレゼンテーション用資料をグループで修正して仕上げておく	30分

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第21回 グループ発表のまとめ	自分が実習する施設と他の施設の違いを理解する	30分
第22回 実習記録の書き方	身上概要を記入する	40分
第23回 実習記録の書き方（毎日のルーチン記録の変化）	心得・留意点を記入する	40分
第24回 実習記録の書き方（実習総括）	実習記録の書き方についての資料プリントの読み込み	40分
第25回 実習目標の立て方	実習目標を立てておく	60分
第26回 実習目標の立て方	実習目標を修正し、仕上げる	60分
第27回 「施設実習」講演会	講演会についての事前資料を読んでおく	40分
第28回 「施設実習」講演会	講演会レポート作成	40分
第29回 講演会のまとめ	講演会レポートを修正し、仕上げる	40分
第30回 最終確認のためのガイダンス	実習に向けて、必要事項を確認する	30分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、前年度実習学生の「後輩へのメッセージ」レポートの読み込み、施設についての情報収集を行う。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 施設実習の意義や、春期体験学習のレポート、講演会外部講師の講演のレポートなどの提出や、実習記録の実習目標・留意点・心得など記入を確認し、評価する。（100%）</p>		
課題に対してのフィードバック		
レポートを添削し、返却する。		
教科書・参考書		
実習の手引（施設実習編）「施設実習ガイド」ミネルヴァ書房 2018 教科書は、授業で参照しながら進めます。		
備考		